| 授業科目名 | 介護過程Ⅱ　　講義 | | 必修･選択の別 | 選択 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 柴田　博 | 開講期 | ２年後期 | 単位数 | 2 |

【授業の主題と目標】

ここでは、事例を用いて介護過程の実際について学習する。事例を用いて介護過程を学ぶ目的は、アセスメントから評価までの一連の思考過程を追体験することにある。同じ課題を抱えた利用者でも専門職のかかわり方で、全く違う効果が得られることを学習する。尊厳の確立や自立へ向けた援助を基本に, 本人やその家族のニーズに照らした介護過程の展開ができる力量を身につける。また, 授業で学んだことを介護実習の中の介護過程にも結びつけていく。

【授業計画・内容】

第 1 回　介護過程の意義、目的・目標
第 2 回　介護過程の展開（アセスメント）の仕方
第 3 回　高齢者における計画、実施、評価の特徴
第 4 回　ICFを取り入れた介護過程の展開方法（１）
第 5 回　ICFを取り入れた介護過程の展開方法（２）
第 6 回　利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開（１）
第 7 回　利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開（２）
第 8 回　介護過程の展開（情報収集）
第 9 回　介護過程の展開（情報分析）
第 10 回　介護過程の展開（介護計画）
第 11 回　個々人の介護計画をグループで討議
第 12 回　グループでのケアプラン作り
第 13 回　各グループの発表、質疑応答（１）
第 14 回　各グループの発表、質疑応答（２）
第 15 回　各グループの発表、質疑応答（３）

【授業実施方法】

講義・演習

【教 科 書 等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『第９巻　介護過程』中央法規出版

【参 考 文 献】

必要時に資料を配布

【成績評価方法】

レポート内容 100%

【主な関連する科目】

「介護総合演習」

【学生へのメッセージ】

事例から、どのような支援が求められるのかを思考して欲しい。